

施策マネジメントシート

基本施策名	07生涯学習の環境づくり	施策 統括課	公民館	氏名	石田 進
政策名	3文化・生涯学習・スポーツ	主な 関係課	くにたち中央図書館、生涯学習課		

1 施策の目的と指標

① 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等

市民

② 施策の目的

市民一人ひとりが生涯学習に取り組み、様々な局面で学ぶことができるとともに、様々な学びを通して、学習の成果を地域社会で活かすことのできるまちを目指します。

③ 対象指標（対象の大きさを表す指標）数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
エ	

④ 成果指標（意図の達成度の指標）数字は記入しない

名称（展開方向ごとに記載）	単位
1 ア 日常何らかの生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%
イ 市が主催する生涯学習事業の参加者数	人
2 ア 図書貸出冊数	万冊
イ 公民館使用者数	人
3 ア 学習活動に取り組んでいる市民の中で、学習を通じて身につけた知識や技術を地域や社会に生かし	%
イ	
4 ア	
イ	

2 第1次基本計画期間（平成28～令和5年度）内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段（具体的な取組内容）
1 学習機会の充実と学習情報提供の推進	日常的に様々な生涯学習に取り組む市民を増やすとともに、学習を通じて生きがいを得ている市民を増やします。	◆一人ひとりのテーマに合わせた学習情報の提供を推進します。 ◆公民館・図書館等の公共施設や教育施設等を活用した学習・交流機会の提供を推進します。 ◆市内の大学・高校等の多様な「知の拠点」との連携により、学びを深める機会を創出します。
2 学習成果を活かせる環境づくりの推進	生涯学習による市民の学習成果を学校・家庭・地域等の日常で活かせる環境づくりを推進します。	◆図書館協力ボランティアなど、学習成果を学校・家庭・地域等の日常で活かせる環境づくりを推進します。 ◆幅広い分野で展開している事業を相互に連携させることにより、学校・家庭・地域の教育力向上の効果を高めるため、生涯学習施策を体系化します。
3		
4		

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

			単位	数値区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			
対象指標	ア	人	見込み値											達成・未達成	前年度比較	
		実績値	74,546	75,384	75,466	75,932	75,984									
		見込み値														
		実績値														
	イ	見込み値														
ウ	見込み値															
エ	見込み値															
成果指標	展開方向1	ア	%	成り行き値	62.3	62.3	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	未達成	向上	
			目標値	64.0	64.7	65.5	66.2	67.0	67.0	68.0	69.0	70.0				
			実績値	66.8	67.9	63.1	61.2	63.4								
		基本計画における指標の説明又は出典元			国立市市民意識調査											
		イ	人	成り行き値											未達成	低下
			目標値	8,000	8,250	8,500	8,750	9,000	9,250	9,500	9,750	10,000				
	実績値		8,065	8,320	9,335	9,228	8,180									
	基本計画における指標の説明又は出典元			公民館における生涯学習事業の参加者数												
	展開方向2	ア	万冊	成り行き値										未達成	低下	
			目標値	51.0	51.5	52.0	52.5	53.0	53.5	54.0	54.5	55.0				
			実績値	53.7	50.8	50.3	49.8	47.9								
		基本計画における指標の説明又は出典元			図書貸出数											
		イ	人	成り行き値											未達成	低下
			目標値	71,000	71,500	72,000	72,500	73,000	73,500	74,000	74,500	75,000				
	実績値		56,991	73,890	72,779	70,896	63,442									
	基本計画における指標の説明又は出典元			公民館施設使用者数												
	展開方向3	ア	%	成り行き値	54.6	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	未達成	向上	
			目標値	34.0	34.7	35.5	36.2	37.0	37.7	38.5	39.2	40.0				
			実績値	34.4	35.6	34.5	32.0	35.8								
		基本計画における指標の説明又は出典元			国立市市民意識調査											
		イ		成り行き値												
			目標値													
	実績値															
	基本計画における指標の説明又は出典元															
展開方向4	ア		成り行き値													
		目標値														
		実績値														
	基本計画における指標の説明又は出典元															
	イ		成り行き値													
		目標値														
実績値																
基本計画における指標の説明又は出典元																
事務事業数				本数		17	14	11	14							
施策コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円												
			都道府県支出金	千円			16,100	3,000								
			地方債	千円												
			その他	千円				410								
			一般財源	千円		143,114	91,990	79,598	174,278							
			事業費計 (A)	千円	0	143,114	108,090	82,598	174,688	0	0	0	0			
			延べ業務時間	時間		67,640	61,734	60,372	65,129							
			人件費計 (B)	千円		211,555	187,142	185,384	184,841							
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	354,669	295,232	267,982	359,529	0	0	0	0			

4 施策の成果実績値に対する評価

(1) 時系列比較 (過去3ヶ年の比較) A (かなり向上) ～E (かなり低下)

(2) 他自治体との成果実績値の比較 A (かなり高い) ～E (かなり低い)

※背景として考えられること(数値で表せない定性的評価もあれば記載する)

・新型コロナウイルス感染症拡大により、2月下旬以降の主催事業の中止や外出自粛が要請された影響等が大きいと考える。

5 施策の現状 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・人口減少、高齢化、子供どもの貧困等の社会状況の変化に対応するため、主体的に判断して多様な人々と協働できる学習や人材育成が求められている。行政として地域連携や生涯学習施策において、将来にわたる学習環境整備や地域還元などの推進や支援する必要がある。

・国の第3期教育振興基本計画(H30～R4年度)では、5つの基本方針の3つ目を「生涯学び、活躍できる環境を整える」とし、人生100年時代の到来、持続可能な開発目標、しょうがいしゃ、職業に必要な知識やスキル等を主題として、生涯学習や学びの推進を掲げている。

・令和元年12月の中央教育審議会「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」答申では、地域の実情を踏まえ、より効果的と判断される場合は、社会教育施設の首長部局への移管特例を認めている。

・国立市では、国立市生涯学習振興・推進計画(R元年5月)を策定し、生涯学習施策の推進を図っている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・住民や議会からは生涯学習施設の増設・開設時間延長や生涯学習活動の充実、直営方式の維持などが求められている。

(3) 施策の取組状況

元年度の取組状況	2年度の取組予定
・公民館では現代的課題や地域・生活の課題などの様々なテーマを取り上げ、市民の自主的な学びを促し、学習が地域還元されるよう社会教育を実践した。 ・「生涯学習振興・推進計画」を策定し、計画に基づく事業の実施及び検討を行った。 ・公民館の外壁改修工事を実施した。 ・若者支援事業、中高生の学習支援事業を実施した。 ・中央図書館の1階と3階の和式トイレ3基の洋式化を行った。 ・日野市との図書館相互利用の開始 ・図書館システムの更新を行った。 ・第22期図書館協議会では、前期報告と提言を踏まえ、図書館事業の現状を把握し、そのあり方を議論した。	・公民館では現代的課題や地域・生活の課題などの様々なテーマを取り上げ、市民の自主的な学びを促し、学習が地域還元されるよう社会教育を実践していく。 ・若者支援事業、中高生の学習支援事業を実施していく。 ・第22期図書館協議会における報告と提言を受理する。 ・第3次子ども読書活動推進計画に基づく事業を実施する。

6 元年度の評価結果 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等) ※基本的に展開方向ごとに記載

総合基本計画に照らして評価する(目的達成のための事務事業が適切か、事務事業の実施方法は適切か)

○成果実績

○学習機会の充実と学習情報提供の推進

・市民の自己学習や地域力は把握しづらい側面があるが、公民館、図書館及び生涯学習課の活動によって、市民一人ひとりが生涯学習に取り組み、様々な学びを通して学習の成果を地域社会で活かすことを実施した。

・公民館の実施計画事業の中高生学習支援は参加者が前年度数から72名減少し、外国人向け日本語講座は18名増加し、取り組みが横ばいだった。

・図書館では、図書リサイクル、社会福祉施設への訪問朗読サービスの実施回数が増加し、活動が活発化した。さらに、中学・高校生のYA実行委員会によるYAコーナー充実、参加型講演会の企画や、音訳資料の提供をはじめとするしょうがいしゃサービス、お話し・行事等の実施による児童サービスが定着するなど、市民に対し様々な学習効果を上げた。

・日野市との図書館相互利用を開始した。

○学習成果を活かせる環境づくりの推進

・第22期社会教育委員の会に諮問を行い、意見を聴取し庁内検討委員会にて「国立市生涯学習振興・推進計画案」の策定した。

○改善余地のある事項・課題等

(2) 施策の元年度における総合評価

C	成果実績数値の評価(A～E)に、定性的要素を加味した評価 A:目標とする成果を挙げており、社会的要請にも十分応えられている。 B:一定の成果を挙げているが、向上・改善の余地がある。 C:成果向上のため、一層の努力が求められる。 D:成果に乏しく、改善が急務である。事業の一部に見直しが必要である。 E:現状の事業では施策の目的を達成することが困難であるため、抜本的な見直しを要する。
----------	--

7 施策の課題・今後の方向性 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 3年度の取組方針

・公民館主催事業や講座を中心に市民の学習意欲の向上や学びを地域社会に還元できる取り組みを実施する。又、引き続き、若者支援事業や中高生の学習支援事業などを実施していく。

・第3次国立市子ども読書活動推進計画に基づき関係機関と連携しながら事業を行っていく。

・生涯学習振興・推進計画に基づき関係機関と連携しながら事業を行っていく。

(2) 中期的な取組方針(概ね実施計画期間を想定)

多様化・複雑化する地域社会において、市民のニーズに沿った公民館・図書館主催事業や講座を開催し、生涯学習に関する市民意識や学習力の向上、学びを地域社会で活かす取り組みを展開する。

・市内の大学などの高等教育機関や地域関係団体、市役所他部課などと相互に連携した事業を展開し、生涯学習の環境づくりを醸成する。